

# 賀川豊彦の文学

—日本人初のノーベル文学賞候補—

特別展 賀川豊彦の文学

4階ミュージアムで只今、開催中!!



賀川豊彦がノーベル平和賞の候補になっていた事をご存知の方は多いと思いますが、ノーベル文学賞の候補になっていたことは、誰もご存じなかったと思います。賀川豊彦は1947年と1948年のノーベル文学賞候補でした。

1910年に小説『死線を越えて』の上巻が発売され、瞬く間に100万部売れたと言われています。大ベストセラーです。その本が世界各国17カ国語に翻訳されました結果、1930年代には『賀川・ガンジー・シュバイツァー、世界の3大聖人』と言われ尊敬されました。このような経過をへて、ノーベル文学賞の候補になったと思われます。賀川豊彦は生涯ハードブックで316冊の書籍を書いておられます。それらの本を自伝系小説、虚構系小説、空想科学小説、詩歌、随筆、紀行文その他に分類し、それぞれに解説を加えた展示会を企画します。賀川豊彦の思想、信条と賀川豊彦の優しさに出会えます。どうぞお越し下さい。お待ちしております。

**期 間：2018年4月1日(日)～4月29日(日)**

**時 間：午前10時～午後5時 (入場は4時30分まで)**

**入館料：大人300円 学生100円 (月曜日休館)**

**会場：賀川記念館 4F ミュージアム**

神戸市中央区吾妻通 5-2-20

事務局：電話：078-221-3627 FAX：078-221-0810

E-mail：office@core100.net